



守屋てるひこ便り Vol.2

編集発行：守屋てるひこ事務所

小田原市荻窪 317-1 イセトヨビル 2階

電話 43-9918 FAX43-9917

国は神奈川県を含む1都3県に発令していた緊急事態宣言について、3月21日をもって解除することを決定しました。令和3年の年明け早々から2か月半にもわたって、市民・事業者の皆様には、外出自粛や営業時間の短縮などにご協力いただき誠にありがとうございました。また、医療従事者・エッセンシャルワーカーの方々の日々懸命なご尽力に心より感謝申し上げます。皆様はすでに十分にご承知のことと思いますが、新型コロナウイルスは消え去ったわけではありません。どうか基本的な感染防止対策についてはくれぐれもお忘れなく継続していただき、安らかな暮らしを取り戻した先に改めて輝かしい希望を描くことができるよう、これからも力を合わせてまいりましょう。



【活動報告ダイジェスト】(3月1日~3月26日)

小田原市議会 <3月定例会~閉会まで>

★市議会本会議で代表質問★ (3月4日付)

私にとっては初の代表質問です。県議会時代の経験で言えば、一般質問と代表質問は全く異なります。一般質問は比較的自由に個人の考えを述べるのですが、代表質問となると、まさに会派を代表しての質問なので、その重みが自ずと異なってきます。3人の会派の場合は3人の思いが込められ、9人の会派の場合は9人の思いが込められます。その議員・会派の思いに応えるため、精一杯丁寧に答弁をいたしました。

また、代表質問に先立ち、3月補正予算議案などが採決され、全て原案の通り可決されました。

この補正予算にはワクチン接種にかかる費用や、コロナによって売上げが減少している中小企業等を支援する費用が盛り込まれております。議決いただいたので、円滑な執行を図ってまいります。予算特別委員会が開催され、令和3年度当初予算等が審査されます。引き続き、緊張感を持って取り組みます。

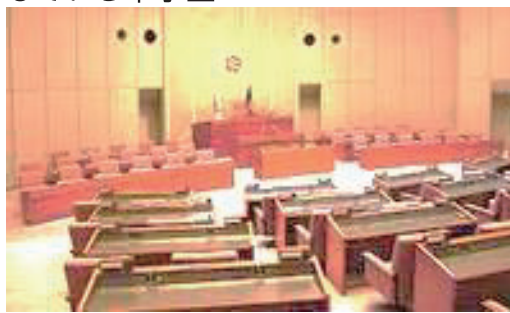
★市議会予算特別委員会★ (3月22日付)

初めての市議会予算特別委員会でした。通常は委員会室で行いますが、密を避けるために、広い本会議場を使用しての開催となりました。予算委員会は、国も地方自治体も花形の委員会で世間の注目も高いと思います。様々なご意見、提案を頂き、今後の市政運営に反映してまいります。予算特別委員会は22日も開催され、25日の3月定例会最終日に向け、いよいよ議会も終盤戦です。

★3月25日市議会閉会へ★ (3月26日付)

市議会3月定例会が、提案したすべての議案について可決され、3月25日に閉会しました。今定例会は、新型コロナウイルス対策関係予算を何度も途中で追加提案し、急遽本会議を開いて頂くなど、議会にも特段の配慮を頂きました。

また、コロナ対策以外にも施政方針で示した2030年に世界が憧れるまち”小田原”を実現するための予算を盛り込み、守屋カラーを反映した予算となりました。審議中に議員から様々な提案を頂きましたので、しっかり反映しながら執行に務めたいと思います。



新型コロナウイルスワクチン接種について (3月9日付)

新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け接種が始まっておりますが、小田原市においても5日に市立病院で開始しました。ファイザー社製のワクチン1箱が県から届きましたが、これで約1,000回分の接種が可能になります。他の医療機関の従事者への接種についても、順次行われることとなっております。一般市民の方には、4月下旬以降に、高齢者の方から始められるように準備をしており、3月下旬に市から予診票と接種券を発送いたします。接種は集団接種と個別接種を併用する予定で、集団接種は保健センターで、個別接種はかかりつけの診療所・クリニックで行います。具体的ワクチン供給スケジュールが明らかになり次第、どの医療機関で、いつから受けられるのかといった情報を提供してまいります。コールセンター(050-5526-1151)へお問い合わせください。また、ワクチンの副反応等については、国のコールセンター(0120-76-1770)にお願いいたします。正しく理解し、一人でも多くの方に接種していただき、集団免疫を得ることが感染拡大防止につながりますので、よろしくお願いたします。